
ウィンド・パワー・トレーニングセンター 整備運営事業紹介

2022年12月16日

株式会社ウィンド・パワー・グループ

目次

- 弊社グループの紹介 -沿革-
- 弊社グループの紹介 -鹿島港洋上風力発電プロジェクト-
- 採択事業の目的と背景
- 採択事業の事業目標
- 採択事業の実施内容
- 今年度の成果指標および効果測定の方法
- 採択事業スケジュール
- 採択事業体制
- 採択事業実施場所

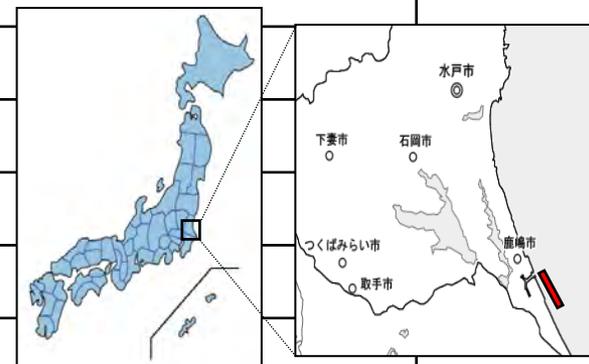
弊社グループの紹介 -沿革-



- 国内では非常に珍しい独立系として風力発電の開発、建設・運営(O&M)に関して20年以上営んでいる国内最古参であり、高度なノウハウ、技術を保持しています。
- ウィンド・パワー(WP)・かみす第1洋上風力発電所は国内初の本格洋上風力発電所です。(外洋に建設された事業用洋上風力発電所であり、東日本大震災にて津波を経験した唯一の外洋に建設された風車)

弊社グループの紹介 - 鹿島港洋上風力発電事業 -

事業主体	株式会社ウィンド・パワー・エナジー
株主	株式会社ウィンド・パワー・グループ(コンソーシアムの代表企業) 東京ガス株式会社 日本風力エネルギー株式会社
プロジェクトコスト	約1,000億円規模
発電規模	合計出力159.6MW (8.4MWx19基)
風車機種	海外製
発電形態	着床式洋上風力発電 (基礎形式: モノパイル)
売電開始時期	2026年 (目標)
売電単価/期間	36円/kWh (2020年3月FIT取得 2044年までの20年間)



事業エリア
茨城県神栖市 鹿島港湾区域内
(沖合約2km、平均水深約20m)

- 事業者として、国内洋上風力発電事業の開発業務を行っています。
- エンジニア目線だけでなく、事業者の視点からも洋上風力O&M専門作業員を育成可能です。

採択事業の目的と背景

<目的>

本事業は、洋上における風力発電施設の運営保守管理業務の担い手となる専門作業員の人員確保という、わが国の洋上風力発電事業を拡大する上で大きな課題の解決に資することを目指しています。

<背景>

洋上風力発電施設の運営保守管理業務について、今後建設すべき発電所の量に比べ、洋上で作業できる知識・技能を備えた専門的人材が大きく不足する見込みとなっているためです。

<参考：我が国の洋上風力発電導入実績と目標>



(出典：IRENA Renewable Energy Capacity Statistics 2022)

採択事業の事業目標

本事業で育成するのは、即戦力として洋上で風力発電施設のO&M業務を行える人材です。

2026年を想定した最終目標は、

「年間1000人程度の受講生にGWOトレーニング及び専門作業員養成トレーニングを行い、即戦力として全国の現場に送り出す」です。

2022年度においては、次の実現を目指します。

- GWOトレーニングインストラクター2名育成
- GWO Sea Survival用プール設備(本体)及びトレーニング設備基礎工事

採択事業の実施内容（概要及び計画）

1. トレーニング施設の建設

GWOが提供する基準に合致するトレーニングセンターを建設する。
GWO BST(Basic Safety Training)の5モジュールを提供するためのプールを併設予定です。

2. インストラクターの育成

台湾のTIWTCへインストラクター候補生を派遣し、GWOのプログラムを提供するための認証を取得します。

来年度以降も定期的に派遣を検討していますが、同時に弊社トレーニングセンターが完成後には国内での育成も行います。

3. トレーニングカリキュラムの作成

GWOのマニュアルをベースに、弊社独自のトレーニングカリキュラムを作成し、洋上でのO&M作業を行うために必要な洋上風車特有の知識、技能習得のために使用します。

今年度の成果指標および効果測定の方法

<成果指標>

今年度における、具体的な成果指標は下記の通りです。

- GWO認証インストラクターを2名育成
- Sea Survival用プール設備(本体)及びトレーニング設備基礎工事の竣工
- GWO BST弊社独自のカリキュラム一覧の検討

<効果測定の方法>

- GWO認証インストラクターを2名育成
 - **TIWTCより育成完了レポートの受領**
- Sea Survival用プール設備(本体)及びトレーニング設備基礎工事の竣工
 - **2022年度発注分に対しての完了図書を受領の有無**

採択事業スケジュール

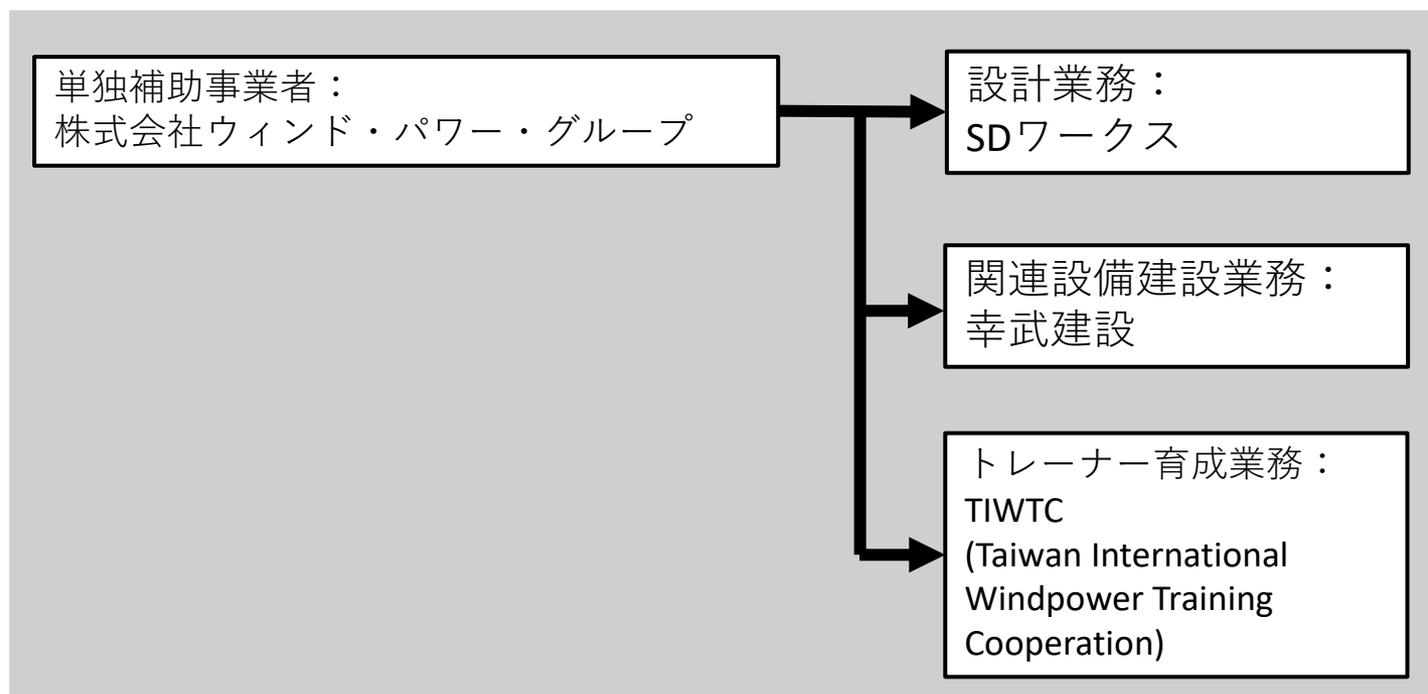
項目	2022年度						2023年度														2024年度			
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		
①インストラクター育成(GWO訓練・台湾渡航)	■	■	■	■	■	■																		
②トレーニングセンター設計業務(調査業務を含む)	■	■	■	■	■	■																		
③プール設備(本体)及びトレーニング設備基礎工事	■	■	■	■	■	■																		
④トレーニング設備工事 (プール設備仕上げ、高所作業エリア、他)							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑤トレーニングセンター建屋建設(屋根、外壁、他)							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑥設備導入							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑦ITシステム導入							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑧GWO訓練施設の認証(日本海事協会の認証)										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑨インストラクター育成(社内)										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑩トレーニングセンター稼働(開業)準備										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑪トレーニングセンター稼働(開業)																					■	■	■	

- 2022年12月時点でスケジュール通りの進捗となっています。
- トレーニングセンター開業は2024年4月見込です。
- 開業日を前倒しできるような日々努めております。

採択事業実施体制

補助金事業者(コンソーシアム)

業務委託・外注先



- TIWTCは、台湾でGWOのトレーニングを行う事業者です。
- 既に「設計」「建設」「育成」分野においては委託先が決定し、契約を締結、業務を実施中です。

採択事業実施場所

ウィンド・パワー・かみす洋上風力発電所
 $2\text{MW} \times 7 = 14\text{MW}$ (第1)
 $2\text{MW} \times 8 = 16\text{MW}$ (第2)

鹿島港洋上風力発電所(計画中)
 事業規模 $8.4\text{MW} \times 19$ 基 総出力159.6MW

洋上風力発電所の建設用の基地港
 (現在、国が整備中)

鹿島港洋上プロジェクト
 風車メーカーO&M拠点・変電所予定地

WP・トレーニングセンター計画地
 (株式会社ウィンド・パワー・グループ本社敷地)

- 国内で有数の洋上風力発電の産業集積地にトレーニングセンターを開設予定です。
- 鹿島港洋上プロジェクト関連施設もトレーニング施設の周辺に集中しているため、より発展的なプログラムを提供する余地があります。